

平成 29 年度事業報告

(第 34 年度)

平成 29 年 4 月 1 日から
平成 30 年 3 月 31 日まで

I 公一1 森林、林業の啓発と緑化事業

森林やみどりは、地球温暖化の防止、局地的豪雨の頻発等に対応した山地災害の防止、生物多様性や景観の保全、環境教育や森林セラピー等による健康づくりの場としての利用、緑豊かで潤いのある日常生活環境の確保など多様な機能を持っており、国民が安全で安心して暮らすことのできるようそれら機能を十分に発揮し得る森林・みどりづくりが求められています。

健全な森林づくり、森林・林業の再生、緑豊かな生活環境づくり等について、県民に正しく理解してもらい、参加を促すための様々な取り組みが必要です。

「長野県ふるさとの森林づくり条例」の規定により長野県が定めた「長野県森林づくり指針」に沿って、行政、NPO、地域住民との様々な形での協働を通じて多くの県民の参加を得ながら、地域の実情やニーズにあった森林の整備や身近な生活環境の緑化等に関する実践的活動に重点をおいて事業の推進に努めました。

1 情報誌等による広報、普及宣伝

森林・林業及び環境緑化に対する県民の更なる理解を深めるため、次の事業を実施した。

(1) 情報誌の発行等

ア 情報誌の発行等

基金業務、森林・林業及び環境緑化等について、県民の理解を深めるため、4月の緑化シーズンに併せてグリーンキャンペーンを行うほか、新聞広告、機関誌の発行、その他参考資料の配布を行った。

機関誌の発行 緑の基金 33号 平成29年10月発行 2,000部

新聞広告 県植樹祭・森林教室告知分 信濃毎日新聞 4月26日 全県版

ぐりんもあ 年4回 各810部 (関連団体外)

イ 緑の情報サービスの推進(ホームページによる情報発信)

当基金が関わる各種行事、巨樹・古木や森と水の絵本のPR、緑の募金の使途報告など、ホームページを用いて情報を発信し、広く県民の森林づくりや環境緑化への実践参加を促進した。

H29 HP更新回数 23回、データ更新203 (H30.3.31現在)

H28 HP更新回数 16回、データ更新132

ウ 森と水をテーマにした絵本づくり

子どもたちがふるさとの森林と川と人との関わりについて、思いを深めることができるように、木曽川上流域を対象に調査し、前作と同様に藤岡牧夫氏に原案・原画作成を依頼し、「森のくまさん・木曽物語」の絵本を平成29年12月に発刊した。

- ・刊行数2,000部 県内の全ての小学校、特殊支援学校に配布したほか、信毎書籍を通して県内書店で販売している。@1,200円
- ・木曽郡町村会他関係団体並びに藤岡牧夫美術館の協力を得て、木曽町に置いて発刊した絵本の原画展及び出版記念会を開催した。

絵本原画展 平成30年1月20日（土）～1月28日（日）

場 所：木曽町図書館（木曽町文化交流センター 1階）

エ その他

・木曽地域の緑化活動を支援している映画「うみやまあひだ」の上映を木曽郡緑化推進委員会及び須高林業振興会、小布施町他の協力のもとに1月13日（土）小布施町小布施文化ホールで開催した。当日は上映会に加え、ミス日本みどりの女神 野中葵さんと藤岡牧夫氏のトークショーを行ったほか、受付で募金を行い、寄付金は木曽地域及び須高地域の募金とした。

- ・FM善光寺の支援を受けて、緑の基金事業に関する情報提供を募金終了時の8月と開始前の3月に行った。

2 県民の集い等の開催

（1）第68回長野県植樹祭の開催

6月3日（土）、長和町姫木平において、豊かな県土の基盤である森林・緑に対する県民的理解を深めるために、「第68回長野県植樹祭」（ふるさとの森づくり県民の集い）を長野県・長和町・中部森林管理局等と共催で開催した。（参加者 1,400人）

（2）森林教室の開催

県植樹祭に併せて、長野県森林インストラクター会等の協力のもと一般県民参加者を募集して、春の森林教室（自然観察会）を開催し、県民が自然に触れ親しみつつ森林・林業に関する知識や理解を深めるよう努めた。（一般参加者 76名）

（3）地区緑化推進団体による森林の感謝祭等の開催

緑と水の森林ファンド事業（国土緑推）の助成を受け、地区緑化推進団体の実情に即し、森林の感謝祭、植・育樹などの体験型行事等を実施した。

3 講演会の開催等

（1）緑に親しむ集い

樹木観察や木の実を使った工作など様々なふれあい体験を通じ、県民が森林や森林の恵みに親しむとともに関心を深めることができるよう、県林業総合センターの体験学習施

設を利用して、定期的に、森林整備作業、自然観察などを取り入れた様々な体験型の集いを開催した。(年間 22 回開催 290 組 672 人 (こども 251 人))

(2) 森林フォーラム

身近な里山の森林整備を推進するため、「森林フォーラム」を長野県、林業関係団体等と共催して実施した。

開催テーマ 「森林県」から「林業県」へ

～森林・林業・木材産業のビジネスモデルを考える

開催日 平成 29 年 5 月 25 日 (木) (国際ウッドフェア開催期間中)

開催場所 ビッグハット 会議室 参加者 250 人以上

(3) 野鳥愛護思想の啓発

小・中学校を対象に、児童・生徒の野鳥を愛し緑を育む心を養うため、野鳥観察、巣箱製作・架設など、野鳥愛護の実践活動に対して、(一社)信州の緑と野鳥を守る会を通じて助成した。

富士見町立富士見小学校、同本郷小学校、天龍村立天龍小学校

飯田市立飯田西中学校、長野市学校法人飯綱学園グリーンヒルズ中学校

計 5 校 150,000 円

(対象校は、猟友会の野鳥愛護指定校 H29 年度指定校数 96 校)

4 森林づくり等実践参加の促進

(1) 林業関係等コンクールの開催

林業関係等コンクールを長野県、林業関係団体等と共催で実施し、健全な森林づくりや環境緑化等に係る様々な活動や成果を顕彰し、県民の実践参加の促進を図った。

ア ふるさとの森林づくり賞及び林業関係ポスター等コンクールの開催

森林づくり、森林環境教育などに優れた功績があった方の顕彰や小・中学校、高等学校の児童・生徒への環境緑化思想及び野生鳥類の保護の高揚を図るためのコンクールを長野県、林業関係団体と共催で実施した。(表彰式 1 月 16 日 (火) 県庁講堂)

・ふるさとの森林づくり賞

森林づくり推進の部	長野県緑の基金理事長賞	1 名
森林環境教育推進の部	長野県緑の基金理事長賞	2 団体

・林業関係ポスター等コンクール

国土緑化・育樹運動ポスターの部	長野県緑の基金理事長賞	1 1 名
野鳥愛護ポスターの部	長野県緑の基金理事長賞	9 名

なお、併せて高額募金者に対する林野庁、国土緑化推進機構の表彰を行った。

林野庁長官 感謝状	1 社
国土緑化推進機構 理事長 感謝状	1 社

イ 木工工作コンクールの開催

小・中・特別支援学校の児童・生徒が木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割を学び木の文化を大切にする心を育てるため、身近な木材を活かして自由な発想で創作した木工工作作品のコンクールを長野県木材青壮年団体連合会と共催で実施した。

表彰式 11 月 11 日 (土) やまびこドーム：松本市、信州バザール開催中

長野県緑の基金理事長賞 1 作品

(2) 森林環境教育指導者研修会の開催

子どもたちが自然に親しみつつ森林の役割や森林づくりの重要性などについて体験的に学習できるよう、長野県の森林の現状をはじめ、森林環境教育に関する知識や森林に親しみながら理解する手法等の研修会を教育指導者である教職員を対象に開催し、それらの習得を支援した。

開催日 10月19日(木)

会場 県林業総合センター 中信地区小中学校教諭 20名)

(3) 学校林の整備・活用

ア みどりの少年団等森林活動支援事業

児童・生徒が行う森林活動を普及推進するため、林業普及指導員がコーディネーターとなり、みどりの少年団等がNPOや地域の指導者等と連携して学校林整備等を行う団体に助成した。

- ・茅野市 金沢小学校、伊那市 西春近小学校、南箕輪村 南部小学校、
宮田村 宮田小学校、長野市 西条小学校、戸隠小学校、坂城町 坂城小学校
- ・茅野市 永明中学校、高山村 高山中学校
- ・長野県長野養護学校 計 10校 事業費 867,275円

5 都市緑化等の環境整備

(1) 公園等公共施設の緑化

ゴルフ場の協力を得た(公社)ゴルフ緑化促進会の緑化協力金を受けて、公共施設の緑化を実施する予定であったが、県内の入会ゴルフ場が無くなったため、当基金への協力金も無くなり、事業は執行できなかった。

(2) 小中学校敷地内の緑化

国土緑化推進機構の助成を受け、学校環境の緑化を通じて、青少年への森林環境教育を推進することを目的に、小・中学校敷地内及び周辺的环境緑化、環境教育のフィールドの整備(樹木の植栽・芝生化、樹木の手入れ、ビオトープ等)を実施した。

事業名 学校環境緑化モデル事業(「ローソン緑の募金」寄付金の活用事業)

実施校 飯田市立和田小学校、飯山市立木島小学校
(事業費 各50万円 国土緑推が学校に直接支払)

(3) 平成31年開催予定の全国都市緑化フェア実行委員会に委員として参画した。

設立総会 平成29年5月24日(土)

6 その他

(1) 国土緑化運動・育樹運動標語の募集

県内の小・中学校生より募集のあった作品19点の中から9点を長野県から推薦し、各県の推進作品を中央で審査された結果、平成30年度用に、次の2点が特選に選ばれた。

- ・国土緑化運動標語「続けよう 植えて育てて 緑の輪」 (小6 奈良県)
- ・育樹運動標語 「育てよう 日本の緑 つながる笑顔」 (高1 高知県)

(3) 森の名手・名人の選定

(公社)国土緑化推進機構が選定する平成29年度「森の名手・名人」に長野県からは2名が選ばれ、県内の名手名人は55名となった。

氏名	年齢	市町村	部門	内容
可児 力一郎	85	南木曾町	加工部門	ひのき箸製造
神戸 直日	76	長野市	森づくり	苗木生産

7 基本財産の運用益

基本財産の運用益については、当初予算では受取利息収入を8,205,120円と見込んだが、国債等の利払いは見込み通りであったが、円建て債券については後期分の3月の利払い日時点で設定円価格より若干の円安となったものの、目標価格より円高になったため配当益は減額となり、決算額は7,737,393円(▲459,609)となった。

ターゲット価格 105.7 円/ドル

3月1日15時(利払い約定日時) 106.83 円/ドル

予算設定(3円の円安) $3 \times 50,000,000 \text{円} \times 1/2 = 750,000$

実受取額 $(106.83 - 105.7) \times 50,000,000 \text{円} \times 1/2 = 282,500$ (▲467,500)

8 出捐金の内訳

平成29年度末

5億8,985万6,019円

(前年度よりの増加額)

0円

〈内訳〉

- ・長野県 150,000,000円(25.4%)
- ・市町村 123,000,000円(20.9%)
- ・民間 316,856,019円(53.7%)

Ⅱ 公一2 緑の募金事業

「長野県ふるさとの森林づくり条例」の基本理念にある「県民の理解と主体的な参加」を念頭に、「緑の募金」運動を積極的に展開し、森林づくりとみどりづくりの大切さの普及啓発に努めました。

4月1日から5月31日までの「緑化推進特別強調月間」を中心に、4月28日には長野駅周辺とトイゴ（新田町交差点付近）にて、長野市及び周辺市の高校生35名（須坂創成、更級農業、清泉女学院、屋代南、長野西）と中部森林管理局、長野連合婦人会、長野地区緑化推進委員会、長野県の協力の下に街頭募金を実施しました。

また、緑を守り育てる緑化意識の高揚に努めるとともに広報等を通じて緑の募金活動を積極的に進めました。

その結果、県内各地域から緑の募金の寄付総額は7,915万2,191円と目標額の8,000万円に対して99%の達成率でした。（資料1）

この、募金による寄附金は、県内各地区の実情に応じた森林の整備、緑豊かな生活環境づくり、次代を担う子供たちの育成などをさらに進めました。（資料1-2）

このほか、緑の募金による公募事業として、健全な森林づくりや身近なみどりづくり、県産材の利活用、森林環境教育などに係る地域における自発的活動を支援したほか、みどりの少年団が行う森林・環境緑化等の学習実践活動を長野県みどりの少年団連盟を通じて促進しました。

また、第67回全国植樹祭に併せ整備された県民植樹会場を活用するため、県民植樹会場活用支援事業により助成しました。

1 緑の募金活動事業

(1) 緑化推進の啓発宣伝

ア 広告、CM等キャンペーン

緑化思想の普及啓発のため、新聞各社への緑化広告の掲載、ラジオ等によるPRを「緑化推進特別強調月間」中（4月1日～5月31日）等を実施した。

- ・ 新聞広告掲載 4月1日他 6社掲載（信毎、朝日、読売、毎日、産経、中日）
- ・ 市町村広報への掲載依頼
- ・ ラジオCM 4/1～4/14（14日間）SBCラジオ 14回
FMながの 14回

街頭募金 4月29日（緑の週間）

- ・ 着胸キャンペーン 緑の羽根、ピンバッジ

平成29年度は県議会議員にも着胸を依頼し緑の羽根を配付した。

イ 企業等と連携した募金活動

- ・ 長野トヨペットふれあいグリーンキャンペーン 5月12日
緑化木及び職場募金の寄付

- ・(一社)長野県環境保全協会の協力を得て、会員企業約 400 社に募金への依頼を行った。
- ・第67回全国植樹祭協賛企業に対する、緑の募金協力依頼の実施
長野県と連携し、協賛各社に緑化運動への協力依頼を行った。

ウ 緑の相談

県民の緑の保全、緑化木等への理解と関心が深まるよう、身近な緑化樹木の衰弱や病虫害等樹木に関する相談に対して迅速に対応する相談窓口業務を実施した。

相談窓口 地域振興局林務課

診断委託先	一般社団法人日本樹木医会 長野県支部	相談件数	15 件	75 千円
	一般社団法人長野県造園建設業協会	相談件数	10 件	50 千円

(2) 募金資材の購入

募金活動の効率的な展開を図るため、緑の羽根、募金箱等の募金資材の購入や募金PRのためのチラシ、家庭募金用封筒の作成等を行った。

(3) 募金活動の推進

4月1日から5月31日までの「緑化推進特別強調月間」を中心に、チラシ、新聞などを利用し広く緑の募金を呼びかけつつ、家庭募金、企業募金、職場募金、街頭募金などの募金活動を県・市町村等行政機関、地区緑化推進団体、みどりの少年団等と連携し展開した。

- ・平成29年 4月 3日 緑の募金初日PR、職場募金（知事他、県職場他）
- ・平成29年 5月25・26日 国際ウッドフェア会場（長野市：基金）
- ・平成29年 9月17日 下伊那農業高校授業発表会（下伊那山林協会）
- ・平成29年10月 8日 長野パルセイロホームゲーム（長野市：基金外）
- ・平成30年 1月13日 うみやまあひだ上映会（小布施町：基金外）

2 公募事業の実施

特定非営利活動法人等緑の募金公募事業の要件を満たす団体が、自主的に地域や社会ニーズに基づいた環境緑化、森林の整備、木材の利活用、野生動物との共生など公益的な活動を推進するため、「緑の募金」を活用した公募事業を実施し、審査に基づき22団体に総額419万7106円を交付した。 応募団体 26団体 採択22、不採択4

3 緑化の推進等（詳細 資料）

(1) 森林の整備

森林整備についての県民の意識の向上と理解を深めるため、植栽、下刈、除間伐などの森林整備に要する苗木・作業用具の購入、指導者の謝金、傷害保険等の経費に対して助成（交付金）した。

(2) 森林整備講演会・研修会等の開催

森林づくりの重要性、地球温暖化防止に係る森林の役割等の周知を図るため、各地区で行われる講演会・研修会の開催に要する経費、山火事防止の広報活動、松くい虫予防活動等に助成(交付金)した。

(3) 公園等公共施設の緑化

ア 学校緑化

学校内環境の緑化、学校林の整備等のため、苗木購入、作業用具購入、指導者謝金等経費を助成(交付金)した。

イ 公園等公共施設の緑化

公園、公民館、福祉施設等の公共施設の環境緑化を図るための苗木購入、作業用具購指導者謝金等の経費を助成(交付金)した。

(4) 苗木の配布

生活環境の緑化や緑に関心を持ってもらうことを促進するため、緑化木頒布会の苗木等の購入の経費を助成(交付金)した。

(5) 植樹・育樹祭等行事

森林を守り育てる意識の高揚等を図ることを目的に地区緑化推進団体や市町村等で行う植樹・育樹祭等行事の開催の経費を助成(交付金)した。

(6) コンクール・講演・研修会

森林・林業のPR及び緑化思想の普及啓発を図るための各種コンクール及び緑化功労者の表彰式等の開催に係る経費を助成(交付金)した。

(7) 第67回全国植樹祭県民植樹会場活用事業

第67回全国植樹祭に併せ整備された県民植樹会場の維持・活用を図るため、事業を行う地区緑化推進団体に対し活動に係る経費を助成した。

実施団体 上小、諏訪、下伊那、木曾、松本 各地区緑化推進団体

交付額 453,956 千円

4 みどりの少年団育成

次代を担う少年たちが、自然とのふれあいを通じて、森林・林業の重要性を理解し、緑を愛し育てる心を養い、人間性豊かな健康で明るく育つよう、県内のみどりの少年団が行う森林・環境緑化等の学習実践活動について、長野県みどりの少年団連盟を通じて助成するとともに地区事業として実施する実践活動に交付金を交付した。

(1) みどりの少年団連盟 交付額 820万円

- みどりの少年団活動助成金 県内みどりの少年団 178団 総額 652万円
- みどりの少年団 地区交流集会交付金 10地区 総額100万円
- みどりの少年団全県交流集会の開催 事業費見込み100万円

日時 8月6日

場所 長野市 長野市少年錬成センター

共催 長野県緑の基金

参加予定者 17団 80人

台風通過に伴う悪天候の為
中止とした

(2) 地区事業のみどりの少年団育成事業

11地区 847万円 地区交流集会開催費、少年団活動費助成等

(3) その他

国土緑化推進機構が実施した「みどりの少年団国際交流事業」に団員が参加した。

- 開催期間 7月31日～8月6日（結団式～解団式）
- 開催場所 ロシア ハバロフスク
- 参加者 上山田小みどりの少年団（児童3名 教諭1名）